

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス  
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 村田 篤紀

(氏名) 吉永 正紀

TEL 03-5368-8883

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	905	△43.3	△135	—	△88	—	△178	—
23年3月期第2四半期	1,598	24.7	72	—	57	—	74	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △181百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 70百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△8.85	—
23年3月期第2四半期	3.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,951	1,654	54.7
23年3月期	3,369	1,848	53.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,613百万円 23年3月期 1,807百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	△19.8	100	1.5	80	△3.2	50	△35.2	2.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 索翥雅(上海)貿易有限公司、除外 1社 (社名)

注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	20,693,000 株	23年3月期	20,693,000 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

24年3月期2Q	481,573 株	23年3月期	481,573 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	20,211,427 株	23年3月期2Q	20,211,982 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災発生による最悪期を脱しつつあるものの、欧米の財政不安を背景として戦後最高水準で推移する円高等の影響、また企業の設備投資の縮小や雇用環境に対する先行き不安を背景とした個人消費の低迷等により、景気は予断を許さない厳しい状況のまま推移いたしました。

当社グループが関連する業界におきましても、企業のIT関連投資の先送りや縮小等の動きは依然として強く、厳しい受注環境が続いております。しかし、このような情勢のなかでもiPhone等のスマートフォン市場においては、2010年度の出荷台数が前年比3.7倍の855万台（MM総研調べ）ともいわれているように急速に拡大しており、スマートフォンアプリ等の関連市場とともに、今後も更なる成長が見込まれております。

このような事業環境のもと、当社グループにおいても、インターネット関連事業を行うソフィア総合研究所株式会社、モバイル事業を行う株式会社ソフィアモバイルが中心となり、多様化する顧客のニーズに対応するためのサービス、企画及び開発等積極的な活動を行うことにより業容の拡大を目指してまいりました。

そして、株式会社ソフィアモバイルでは、スマートフォン関連の技術を磨きつつ積極的な事業活動を実施し、NTTドコモの3G回線網を使用したMVNO（仮想移動体通信事業）事業者として、スマートフォン端末を使用するIP携帯電話サービス「エスモビ」を法人及びコンシューマー向けに開始いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が905百万円（前年同四半期は1,598百万円）となりました。損益面は、営業損失135百万円（前年同四半期は営業利益72百万円）、経常損失88百万円（前年同四半期は経常利益57百万円）、四半期純損失178百万円（前年同四半期は四半期純利益74百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間より「情報システム事業」を「モバイル事業」に「名称」の変更を行っております。

#### [インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発及び運営支援、業務コンサルティング、データセンターの運用保守等を行い、売上高は804百万円（前年同四半期は1,281百万円）となりました。

#### [モバイル事業]

スマートフォン端末を使用するIP携帯電話サービス（エスモビ）の提供、デジタルサイネージ端末（naniポ！、nanicaシリーズ）の販売・レンタル及び動画配信管理システム等を行い、売上高は94百万円（前年同四半期は28百万円）となりました。

#### [デジタルプロダクツ事業]

デジタル製品（ARecX6チューナーレコーダー）の販売等を行い、売上高は6百万円（前年同四半期は291百万円）となりました。

#### [海外事業]

海外事業におきましては、当第2四半期連結累計期間において、事業機会の情報提供、ビジネスの仲介業務等の取引成立はありませんでした。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ417百万円減少し2,951百万円となりました。これは現金及び預金の減少額463百万円、有形固定資産の減少額59百万円、投資有価証券の増加額180百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ223百万円減少し1,296百万円となりました。これは短期借入金の増加額100百万円、その他流動負債の減少額235百万円、長期借入金の増加額88百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ194百万円減少となり、自己資本比率は54.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ463百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,539百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は369百万円（前年同四半期は223百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失、仕入債務の減少額及び預り金の減少額が主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は205百万円（前年同四半期は54百万円の使用）となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は96百万円（前年同四半期は26百万円の獲得）となりました。これは、短期借入金及び長期借入れによる収入が主な要因であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、重要性が増したため、子会社である索翡雅（上海）貿易有限公司を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,958,661	1,494,851
受取手形及び売掛金	369,533	316,513
有価証券	44,466	44,480
商品及び製品	68,178	63,320
原材料及び貯蔵品	735	735
その他	234,186	209,901
貸倒引当金	△1,902	△1,189
流動資産合計	2,673,858	2,128,614
固定資産		
有形固定資産	174,695	115,688
無形固定資産	97,457	71,131
投資その他の資産		
投資有価証券	190,251	371,170
敷金及び保証金	29,303	39,211
その他	253,330	251,535
貸倒引当金	△49,813	△26,163
投資その他の資産合計	423,071	635,754
固定資産合計	695,224	822,573
資産合計	3,369,082	2,951,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,367	81,980
短期借入金	550,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	56,383
1年内償還予定の社債	100,000	70,000
未払法人税等	26,963	3,277
その他	527,274	291,929
流動負債合計	1,426,604	1,153,570
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	—	88,765
その他	53,828	34,579
固定負債合計	93,828	143,345
負債合計	1,520,433	1,296,915
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	250,397	250,397
利益剰余金	△486,061	△677,539
自己株式	△61,060	△61,060
株主資本合計	1,811,275	1,619,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,157	△5,839
為替換算調整勘定	△1,279	△178
その他の包括利益累計額合計	△3,436	△6,017
新株予約権	40,810	40,492
純資産合計	1,848,649	1,654,272
負債純資産合計	3,369,082	2,951,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,598,059	905,367
売上原価	1,198,272	684,336
売上総利益	399,786	221,031
販売費及び一般管理費	327,709	356,511
営業利益又は営業損失(△)	72,076	△135,480
営業外収益		
受取利息	523	9,424
受取配当金	324	69
貸倒引当金戻入額	—	24,363
持分法による投資利益	2,504	21,636
還付加算金	213	—
その他	415	2,924
営業外収益合計	3,981	58,418
営業外費用		
支払利息	8,288	7,499
為替差損	9,046	3,677
その他	943	—
営業外費用合計	18,278	11,177
経常利益又は経常損失(△)	57,779	△88,238
特別利益		
債務免除益	2,133	—
貸倒引当金戻入額	28,306	—
新株予約権戻入益	—	318
特別利益合計	30,439	318
特別損失		
投資有価証券評価損	6,054	—
減損損失	—	43,069
特別損失合計	6,054	43,069
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	82,164	△130,990
法人税、住民税及び事業税	24,368	2,298
法人税等調整額	△17,158	45,680
法人税等合計	7,210	47,979
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	74,954	△178,969
四半期純利益又は四半期純損失(△)	74,954	△178,969

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	74,954	△178,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,942	△3,682
為替換算調整勘定	△1,110	1,101
その他の包括利益合計	△4,052	△2,581
四半期包括利益	70,901	△181,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,901	△181,550
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	82,164	△130,990
減価償却費	54,539	53,191
減損損失	—	43,069
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,685	△24,363
受取利息及び受取配当金	△818	△9,494
支払利息	8,288	6,831
有価証券運用損益(△は益)	—	△426
投資有価証券評価損益(△は益)	6,054	—
新株予約権戻入益	—	△318
為替差損益(△は益)	1,292	333
持分法による投資損益(△は益)	△2,504	△21,636
売上債権の増減額(△は増加)	△82,412	53,148
たな卸資産の増減額(△は増加)	59,253	4,604
営業保証金の増減額(△は増加)	200,000	—
未収消費税等の増減額(△は増加)	6,868	881
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,455	△33,898
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,194	△66,124
未払金の増減額(△は減少)	△44,598	△11,602
預り金の増減額(△は減少)	45,906	△184,220
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,902	△24,339
その他の負債の増減額(△は減少)	△45,134	2,579
小計	249,660	△342,775
利息及び配当金の受取額	758	969
利息の支払額	△8,645	△6,808
法人税等の支払額	△40,102	△24,559
法人税等の還付額	22,222	3,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,894	△369,565
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	—	1,258
投資有価証券の取得による支出	△10,000	△188,252
有形固定資産の取得による支出	△12,795	△5,779
無形固定資産の取得による支出	—	△3,211
貸付けによる支出	△30,000	—
貸付金の回収による収入	86	88
敷金の差入による支出	△1,431	△10,928
敷金の回収による収入	—	1,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,139	△205,804

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	100,000
リース債務の返済による支出	△23,309	△23,532
長期借入れによる収入	—	123,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	△52,850
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△6	—
配当金の支払額	△114	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,569	96,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,710	△349
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	194,613	△479,107
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	15,312
現金及び現金同等物の期首残高	1,141,731	2,003,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,336,345	1,539,332

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	インターネット 関連事業	情報システ ム事業	デジタルプロ ダクツ事業	海外事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,276,948	28,098	291,799	—	1,596,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,623	—	—	137,789	142,413
計	1,281,572	28,098	291,799	137,789	1,739,259
セグメント利益又は損失(△)	177,139	△53,571	1,762	11,401	136,732

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	136,732
セグメント間取引消去	7,765
全社損益（注）	△70,792
その他の調整額	△1,628
四半期連結損益計算書の営業利益	72,076

(注) 全社費用は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	インターネット 関連事業	モバイル事 業	デジタルプロ ダクツ事業	海外事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	801,553	94,713	6,829	—	903,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,405	—	67	—	3,472
計	804,959	94,713	6,896	—	906,569
セグメント利益又は損失(△)	4,275	△55,595	△3,255	△989	△55,565

(注) 「モバイル事業」につきましては、従来の「情報システム事業」から名称変更しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△55,565
セグメント間取引消去	—
全社損益（注）	△79,321
その他の調整額	△593
四半期連結損益計算書の営業損失	△135,480

(注) 全社費用は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイル事業」セグメントにおいて、デジタルサイネージ端末「nanica7」に係る事業用資産につ  
いて、事業環境の悪化により収益性が低下したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該  
減少額を減損損失（39,131千円）として特別損失に計上いたしました。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。